

## 令和4年度 杉並区立八成小学校 学校経営計画

### 1 教育目標

人権を尊重する精神を基調として、学ぶ喜びと主体性をもち、自らの学力、人間性、体力を高めようとする児童の育成を目指し、次の教育目標を掲げています。

○深く考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子 ○進んで取り組む子

### 2 学校経営の基本方針

杉並区教育ビジョン2022で「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を掲げています。誰もが自分らしく生きることを大切にしながらみんなのしあわせを創る、一人一人が教育の当事者であり、次の5つの視点を示しています。①子供の思いを尊重する。②ちがいを受け入れる。③対話を大切にする。④学びの成果を贈り合う。⑤社会を創る当事者として考える。この視点を踏まえて、本校の学校経営をすすめていきます。

学校は“夢を育むところ”であると考えます。子供たちの夢、保護者や地域の夢、教職員の夢があることで、未来に向かってよりよく生きようとする力が生まれます。一人一人が夢をもち、理想を掲げ、力を引き出し伸ばしていくことにより、自己肯定感が高まり、自己実現につながっていきます。そのためには、子供たちが共に学び、また教職員や保護者・地域が共に支え、子供も大人も夢に向かって高め合い、力を合わせて未来を創っていくことが必要です。横のつながりと縦のつながりを深め、八成小学校が地域の核としての学校となることを目指します。それが、本校の特色ある学校づくり ～“アイ”でつながる学校づくり～ をより発展させることになると考えます。

夢をもち、夢に向かって努力する子供を育むため、学校教育活動を通して自分や相手を理解しようとし、進んで他者と関わり、意欲的にものごとに取り組む力の向上を図るよう、次の3点を基本として学校経営に努めます。

#### <基本方針の3つの柱>

##### (1) 心を磨き耕す

子供も教職員も人格のある一人の人間であることを自覚し、他の人格の尊重ができ、自分の心を磨き、心を耕して成長をしていく姿勢をもつ。

○目指す児童像：理想（夢）をもち、深く考え、自分を向上させる意欲をもつ子

○目指す教員像：自己を内省する心のゆとりをもち、職務に関する研鑽と資質向上に努める先生

##### (2) ルールを尊重し守る

ルールの遵守は自分と周囲の人を守ることにつながる。安全な学校生活を保持するために不可欠なルールやマナーを尊重し、守る態度を育成する。

○目指す児童像：八成のきまりを守り、正しく行動し正しいことを主張できる子

○目指す教員像：各種法令の遵守と服務事故防止の意識を高くもち、真摯に職務に取り組む先生

##### (3) 人との関係を大切にする

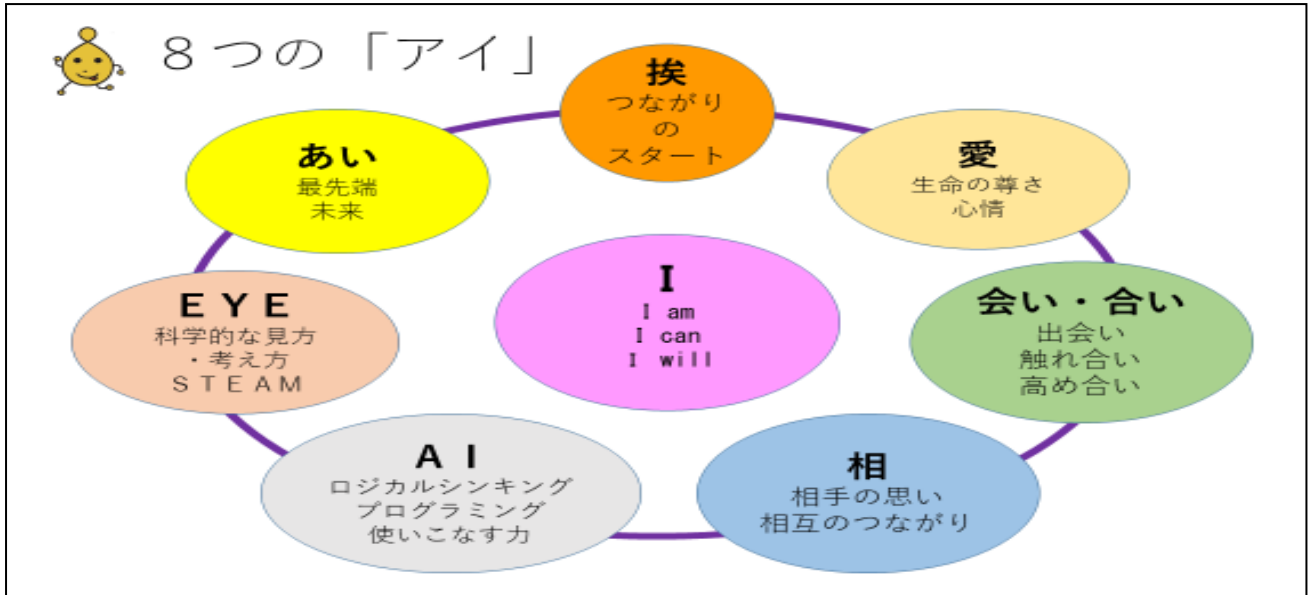
人間関係は目や耳で認識できるものだけでなく、広く深いつながりがある。この関係のスタートとなる出会いを大切にして上手にコミュニケーションを取る力を育成する。

○目指す児童像：あいさつができ、「ハイ、アリガトウ、ゴメンナサイ」が言える子

○目指す教員像：組織で対応することを意識し、縦（連携・共有）と横（連絡・相談）のつながりを深めていける先生

### 3 特色ある学校づくり ～“アイ”でつながる学校づくり～

「8つのアイ」を基に、大きな変化が予想されるこれからの世界で主体的によりよく生きていく力、「ヒト・コト・モノをつなげようとする力」の育成を図ります。



### 4 具体的な取組

(1) 自立的・協働的な学校づくり ←「“アイ”でつながる学校づくり」の継承・発展

「地域に根ざし、みんなの夢を育む学校づくり」 “3つのプロジェクト”

- ①**子供の夢プロジェクト** : 探求的な学び、課題発見力や問題解決力の育成
- ②**地域の夢プロジェクト** : 子供たちが地域に向けて発信し、自分ごととして考える力の育成
- ③**教職員の夢プロジェクト** : 教師力・人間力を磨き、教職員自身の夢の追究や協働する学校づくり

(2) 学力向上に向けて

- ①総合的な学習の時間、生活科で「自ら感じ（気づき）、考え、行動する児童の育成」を目指した校内研究を行います。
- ②各種学力調査を分析し、個別指導（算数補習等）やA Iドリルの活用により既習学習の定着を図ります。
- ③学習規律を確立し、また学習環境を整備して、どの子も学ぶ楽しさを味わえる授業を目指します。
- ④個性を伸ばす探求的な学習を進め、検定（漢字）や区・都のコンクール等の参加を促します。（任意）。
- ⑤一人一台専用タブレットを活用し、学習の個別化、探求化、協働化を図り、深く考える力を育成します。

(3) 体力・健康向上に向けて

- ①指導方法の工夫により運動量を確保し、体力調査結果を分析・活用して指導の重点化を図ります。
- ②運動の習慣化を図るため外遊びを奨励し、「長縄週間」を各学期に設定し重点として取り組みます。
- ③健康教育の取組として、養護教諭や栄養士と連携し保健授業の充実と食育の推進を図ります。

(4) 安心・安全な学校生活のために

- ①教育相談体制を充実し、子供も保護者も相談しやすい環境を整え、親身な対応で支援します。
- ②学校いじめ防止基本方針に基づき、学校いじめ対策委員会による組織的で迅速な対応をします。
- ③学校生活の共通理解・共通実践として、「凡事徹底」、「あ（挨拶）じ（時間）み（身だしなみ・身のまわり）こ（言葉遣い）し（姿勢）」の考え方を啓発し取り組みます。
- ④特別支援教室「はちなり教室」やスクールカウンセラーと連携した教育活動や相談活動を充実します。
- ⑤食物アレルギー対応を徹底し、栄養士と連携して実技研修やマニュアル等により事故防止をします。
- ⑥新型コロナウイルス感染防止を徹底し、健康観察と換気、手指消毒とマスク着用等、都度指導します。

(5) 小中一貫教育の推進

- ①3校連携（中瀬中学校・桃井第五小学校・八成小学校）の合同研修会等に取り組みます。
- ②中瀬中学校の生徒と本校児童とが直接関わる取組を、感染防止に配慮しながら実施します。

(6) 信頼される学校づくりに向けて

- ①感染防止に配慮しながら、授業や行事の参観、学校ホームページでの情報提供を行います。
- ②コミュニティスクールの運営と開かれた学校の推進を図り、年8回の学校運営協議会を開催します。
- ③学校支援本部やPTAの協力を得ながら、地域と連携し特色を生かした豊かな教育活動を行います。